

	<p>そのためには、高齢者が自ら健康づくりや介護予防に関心を持ち、取り組んでいける上記のような環境づくりが不可欠です。</p>
	<p>さらに、施設・居住系サービスについて身近な地域での整備を進めるとともに、高齢者の居住に係る施策と連携し、多様な高齢者の住まいの確保に向けた取り組みを進めていきます。</p>
	<p>超高齢社会にあっては、市民が地域福祉を担う主体として、ともに助け合いながら、市、事業者と協働して地域社会を支えていく必要がいつそう高まっています。そして、高齢者自らも地域社会の一員として、役割をもって地域活動に取り組むことが期待されています。そのため、「“こうべ”の市民福祉総合計画」（「神戸市地域福祉計画」）との整合を図りつつ、高齢者が、地域社会の中で積極的な役割を担い、様々な世代と交流してつながりをもち続け、さらには介護が必要になっても生活をともに楽しめる地域づくりに取り組みます。</p>

そのためには、高齢者が自ら健康づくりや介護予防に関心を持ち、取り組んでいける上記のような環境づくりが不可欠です。

さらに、施設・居住系サービスについて身近な地域での整備を進めるとともに、高齢者の居住に係る施策と連携し、多様な高齢者の住まいの確保に向けた取り組みを進めていきます。

超高齢社会にあっては、市民が地域福祉を担う主体として、ともに助け合いながら、市、事業者と協働して地域社会を支えていく必要がいつそう高まっています。そして、高齢者自らも地域社会の一員として、役割をもって地域活動に取り組むことが期待されています。そのため、「“こうべ”の市民福祉総合計画」（「神戸市地域福祉計画」）との整合を図りつつ、高齢者が、地域社会の中で積極的な役割を担い、様々な世代と交流してつながりをもち続け、さらには介護が必要になっても生活をともに楽しめる地域づくりに取り組みます。

(※) フレイル：医学用語である「Frailty (フレイルティー) のこと。病気ではないけれど、年齢とともに全身の予備能力、筋力や心身の活力が低下し、介護が必要になりやすい状態のことです。早期に発見し、適切な食事と運動、社会参加を心がければ、再び健康な状態に戻る可能性があると言われています。

第8期神戸市介護保険事業計画 基本理念 (案)

2. 自己決定の尊重

今日の社会においては、あらゆる面で自分の人生を自分で決めていくことができるという自己決定が尊重されなければなりません。

こうした自己決定の尊重の一環として介護保険制度においても、高齢者自身が福祉サービスを利用するにあたって選択の自由が保障されており、その考え方が浸透しています。_____そのためには多様なサービスが準備され、また、高齢者がそれらの情報を容易に入手できるとともに、_____認知症などにより判断能力が不十分な人への_____支援_____も含め、身近なところで相談できるよう体制を充実し、高齢者の個別性を尊重します。

第7期神戸市介護保険事業計画 基本理念

2. 自己決定の尊重

今日の社会においては、あらゆる面で自分の人生を自分で決めていくことができるという自己決定が尊重されなければなりません。

こうした自己決定の尊重の一環として介護保険制度においても、高齢者自身が福祉サービスを利用するにあたって選択の自由が保障されており、その考え方が浸透しています。しかしそのためには多様なサービスが準備され、また、高齢者がそれらの情報を容易に入手できるとともに、さらには、認知症などにより判断能力が不十分な人には、権利擁護施策による支援がなされることも含め、身近なところで相談できることが重要となります。

こうした体制を充実するため、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）の総合相談窓口としてのワンストップサービス機能を強化します。その際、あんしんすこやかセンターが中心となって、介護に取り組む家族を始めとして、地域の多様な機関、事業者、NPO等が必要に応じて関わり、高齢者の課題の解決に向けて連携することによって、高齢者の個別性を尊重します。

また、すべてのライフステージにおいて、個々の高齢者が自分らしい生き方を自分で決めていけるよう、ライフステージごとの多様な選択肢の確保に努めます。

ランティア、NPO等と連携・協働のもと介護保険制度を運営して
いきます。

また、あんしんすこやかセンター（地域包括支援センター）にお
ける高齢者の総合相談窓口などの本来的機能を強化し、各区役所と
あんしんすこやかセンターが連携して、地域で安心して生活できる
環境づくりを進めます。

さらに、地域での見守りについては、要援護者支援センターの設
置など、平常時のみならず、災害時の要援護者支援に取り組みます。

また、権利擁護システムの強化や成年後見制度の活用による高齢
者の人権擁護の充実、ユニバーサルデザインのまちづくりの推進を
図るなど、神戸市の「市民福祉」の理念に即して高齢者が安全・安
心な生活を続けられるようにします。

介護保険施設等については、今後の地域医療の動向や高齢者のニ
ーズを十分に踏まえ、計画的に必要な整備を進めていきます。

第8期神戸市介護保険事業計画 基本理念 (案)

4. 介護保険制度の適切な運営のために

介護保険は、保険料と税金で支えられている市民の「助け合い」の制度であり、市民に信頼される制度運営を心がける必要があります。そのために、利用者の自立支援や重度化防止につながるサービスの適正化への取り組みによるサービスの質の向上などにより、制度が無駄なく公平に運営していきます。

保険料については、低所得者への配慮を中心に、今後の高齢社会の進展に必要なサービス水準の財源を確保していきます。

さらに、介護人材の確保・定着は喫緊の課題であり、国・県や、サービス事業者団体等との連携のもと、神戸市独自の取り組みを進めていきます。

第7期神戸市介護保険事業計画 基本理念

4. 介護保険制度の適切な運営のために

介護保険は、保険料と税金で支えられている市民の「助け合い」の制度であり、市民に信頼される制度運営を心がける必要があります。そのために、利用者の自立支援や重度化防止につながるサービスの適正化への取り組みをはじめ、制度が無駄なく公平に運営していくとともに、地域の関係機関との連携、サービス従事者の人材育成などにより、サービスの質の向上を図ります。

今後、介護保険サービスの利用者が増加する中で、介護労働者の確保・定着は喫緊の課題です。神戸市では国や事業者との役割分担のもと、教育委員会とも連携し、教育や啓発を進めることにより、介護分野のイメージアップや理解の促進に努めます。また、計画的な人的介護基盤の確保を図るため、国・県や、サービス事業者団体等との連携のもと、神戸市独自の取り組みを進めていきます。

保険料については、低所得者への配慮を始め、よりきめ細かく負担能力に応じたしくみを構築しつつ、今後の高齢社会の進展に必要なサービス水準の財源を確保していきます。